

Limit-EPA で計算結果のドキュメントを作成した時、まれに発生する不具合について

この説明書は 2002 年 5 月 13 日以降の修正ファイルで修正された Limit-EPA (ver. 2.03 rev. 020513)、または 2002 年 5 月 13 日以降に納品された Limit-EPA に適用します。

Limit-EPA で計算を終え、<結果の表示・印刷>ボタンで表示使用としたとき、ページ送りが正常に行われず、1 行目に数字とか文字が 1 つ印刷されるだけで改ページをしてしまい、無駄なページが多量に作成されてしまうことがありました。

これは、ドキュメント作成時に文字位置等の設定値が四捨五入等により処理段階でわずかな誤差の累積が原因となっています。

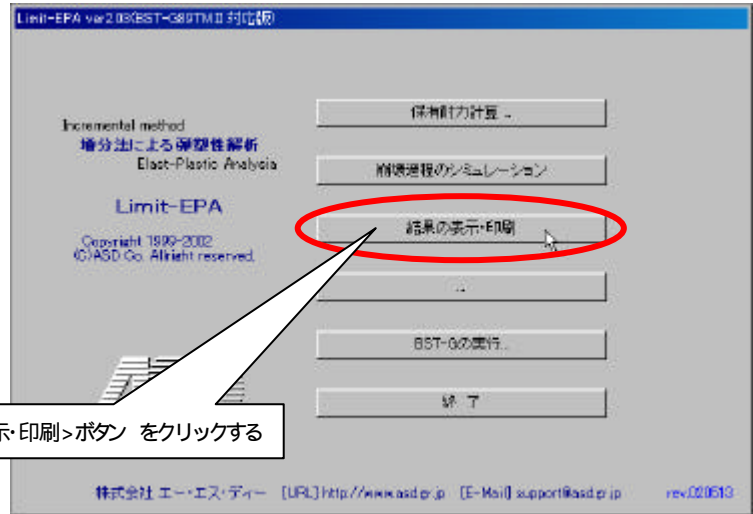
これにつきましては、残念ながら現状では 完全 には解決できていません。

そこで、保有水平耐力を計算したあと、一度計算結果を表示させ、その結果上記のような不具合が発生してしましたら、今回追加した「用紙高さチェック/安全率」で値を入力し、再度ドキュメントを作成し直すことで上記トラブルを回避できるようにしました。

具体的には、次ページ以降の「結果の表示・印刷時の「用紙高さチェック/安全率」での入力について」で説明します。

結果の表示・印刷時の「用紙高さチェック/安全率」での入力について

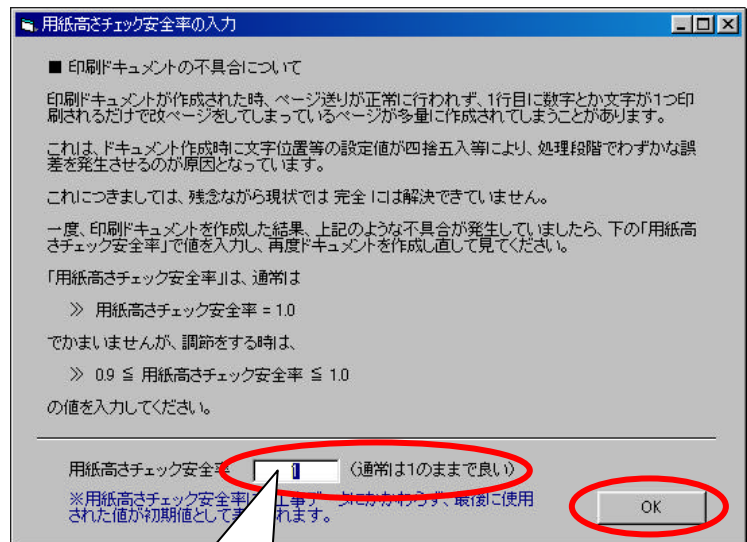
- 1) Limit-EPA で保有水平耐力計算が終わったら、結果を見るために <結果の表示・印刷> ボタン をクリックします。



- 2) 「用紙高さチェック/安全率」を入力する画面が表示されますので、

特に理由がない限り、最初もしくは通常は「1」を入力します。

- 3) 入力したら<OK>ボタン をクリックします。



特に理由がない限り、最初もしくは通常は「1」を入力し、<OK>ボタンをクリックする

4)しばらくすると右のように計算結果が表示されます。

このとき、下の表示枠の中央付近に、
現在表示されているページと、
全体ページ数
が表示されています。
この全体ページを見て「多い！」と思ったときは
内容を確認してください。

全体ページ数を確認する

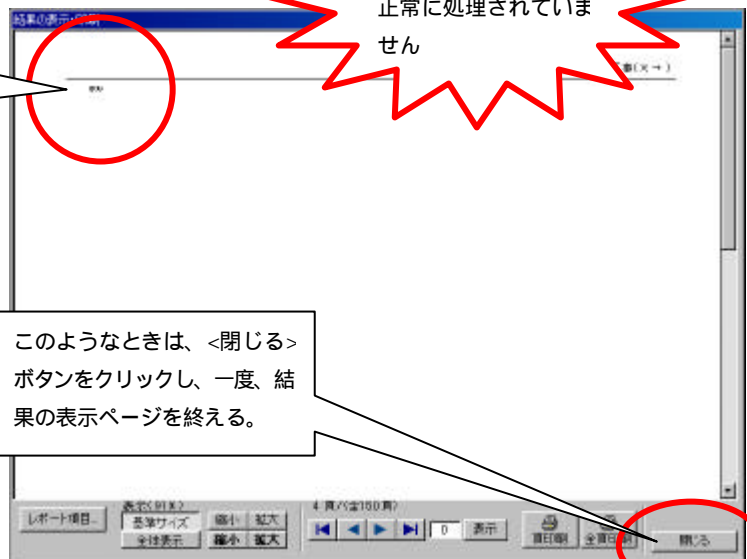
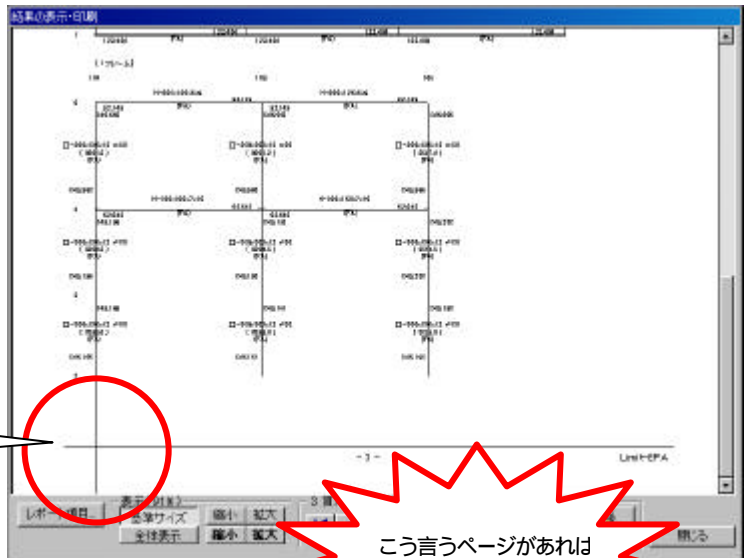


5)確認のため内容を見て、右のような画面があれば、ドキュメント作成処理に何らかの問題があり、正常に処理されていません。

このように、柱の線が枠外に描かれている

このように、ページの頭（または一カ所）文字が印刷されているだけで、あとは空欄のまま改ページされている

こういうページがあれば正常に処理されていません



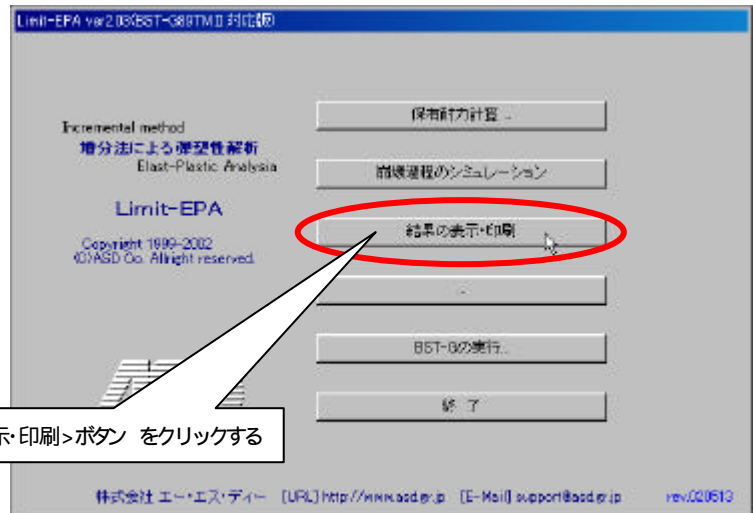
6)このようなときは、<閉じる>ボタンをクリックし、一度、結果の表示ページを終えます。

このあとは 1)と同じに見えますが、7)をご覧ください。

このようなときは、<閉じる>ボタンをクリックし、一度、結果の表示ページを終える。

7) 5)のような結果になった場合、6)での説明にあるように <閉じる>ボタン をクリックすると「メインメニュー」画面に戻ります。

8) ここで再び <結果の表示・印刷>ボタン をクリックします。

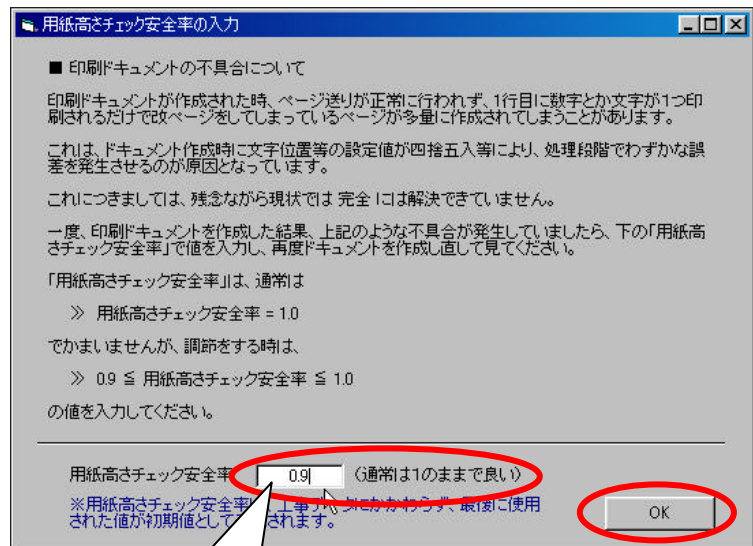


<結果の表示・印刷>ボタン をクリックする

9) 再び「用紙高さチェック/安全率」を入力する画面が表示されましたら、

調節値として、 0.9 ~ 1 の値を入力します。

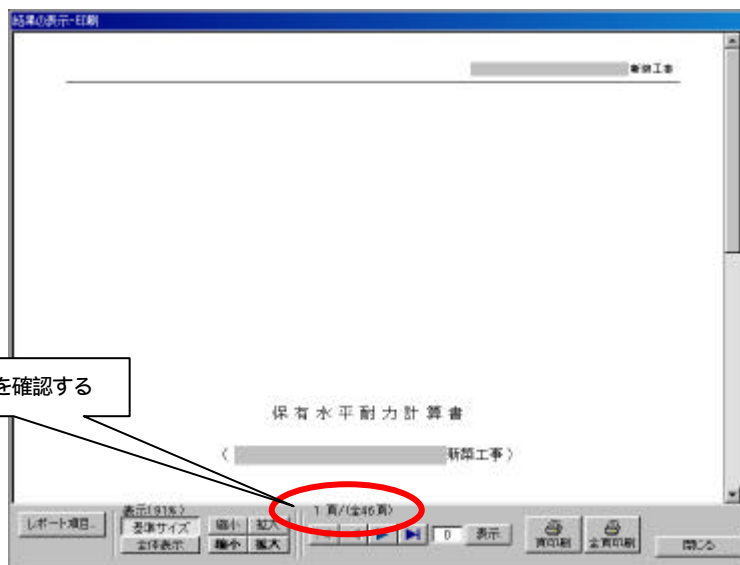
10) 入力したら<OK>ボタン をクリックします。



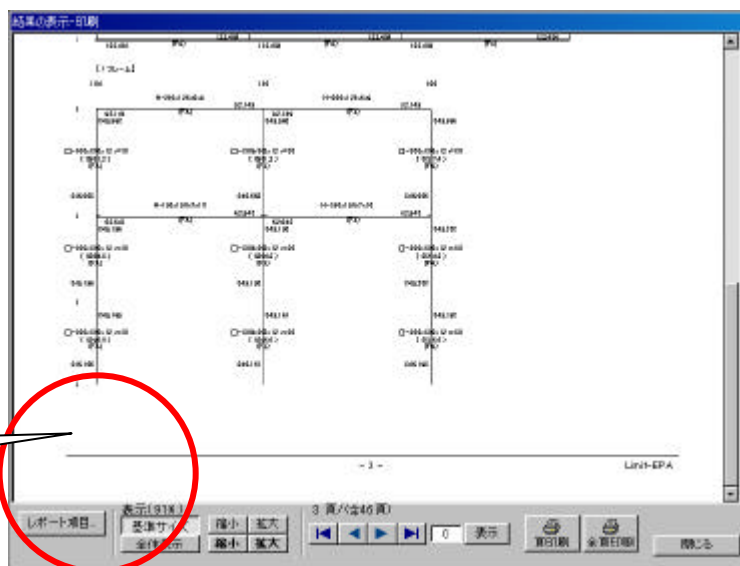
0.9 ~ 1 の値を入力し、<OK>ボタンをクリックする

11) うまくくと、右図のように、ページ数も正常になり、また右下図のように柱がページの外にはみ出していたのが正常になっています。

全体ページ数を確認する



このように、柱が枠内に正常に描かれている



12) 一度でうまく行かなかった場合は、「0.9」～「1」の値で、6)～11)を繰り返してください。

以上です。